



©岐阜県

今年の人事異動で5人の仲間が着任しました。うち新人が3人で、年齢構成が若返っています。至らない点があると思いますが、ご指導よろしく申し上げます。さて中山間農業研究所の研究内容や成果、行事等について、年4回のニュースを発行します。

今回は「新たに取り組む研究課題」の紹介です。質問やご意見等がございましたら最後の宛先までお願いします。

### 【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】令和3～7年度 加工利用米県オリジナル新品種の育成と栽培技術の確立

#### ○美濃地域に適した酒造好適米新品種の育成

本県のオリジナル酒造好適米品種「ひだほまれ」は、その栽培適性からほとんどが飛騨地域で栽培され、美濃地域に適した品種がなく、新品種の育成が求められています。

そこで中津川支所では、美濃地域での栽培に適した新品種育成と栽培技術の確立に取り組めます。

#### ○「たかやまもち」の高品質化を目指した施肥技術

「たかやまもち」の全量基肥肥料は約20年程前に開発され、近年の気象条件下では肥料の溶出パターンが「たかやまもち」の生育に適合せず品質に影響を及ぼしている可能性が考えられます。

そこで、近年の気象条件に適合し高品質化が可能な「たかやまもち」専用の肥料を開発します。

これにより、美濃地域で生産され、地元酒蔵で醸造された新たな日本酒の製造により地域の活性化が期待されます。また、「たかやまもち」の高品質かつ栽培の省力化により、一層の生産拡大が期待されます。



↑育成中の系統の搗精後の様子  
(心白が小さい)

#### 酒造好適米の育種目標

##### 【栽培特性】

- ・早生で収量、品質が優れる

##### 【醸造特性】

- ・心白が小さく、少ない

【本所担当／可児 友哉】

### 【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】令和3～7年度 クリ栽培の省力化に向けた機械化体系の構築

県産クリは菓子屋などからの需要が高く、増産が求められている一方で、生産者の高齢化による生産力の低下が懸念されています。そこで、クリ栽培の効率化・省力化に向けた作業体系の機械化に取り組めます。

防除作業については、ドローンを用いた航空防除技術を、収穫作業は中山間地でも使用可能な新規収穫機を開発します。さらに、作業の機械化に適した新たな樹形を考案し、これらを総合して機械化体系を構築します。これにより、作業の省力化・効率化が図られ、栽培面積、担い手の増加につながり地元菓子業者への供給増に貢献できると考えています。

【支所担当／荒河 匠】

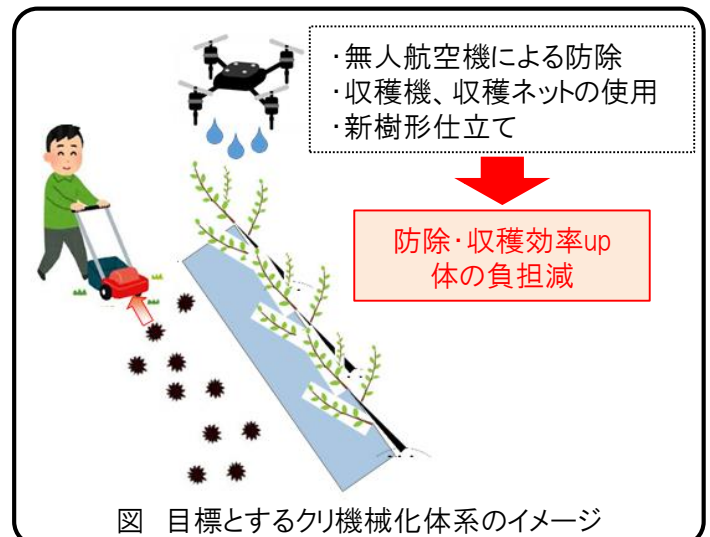


図 目標とするクリ機械化体系のイメージ

## 【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】令和3～7年度 カラーピーマンの3Sシステムによる栽培管理方法の開発

県内の夏秋トマト産地では、就農研修施設の充実により新規就農者が増加しています。しかし、他県産地でも新規参加者が増えており、今後、市場価格の低下が懸念されることから、所得確保のための新たな品目の選定が必要となっています。

一方、同じナス科野菜類のカラーピーマン(パプリカ)は、近年国内需要が増加していますが、その多くが輸入で、国内生産量は少ない状況にあります。その理由のひとつとして、カラーピーマンは土壌病害に弱く、土耕栽培の連作が難しいことが挙げられます。

そこで、新品目としてカラーピーマンを選定し、当所で開発した3Sシステムにより土壌病害を回避し安定生産を可能とする栽培管理方法の開発を目指します。これにより、新規就農者の経営安定が図られ、営農の継続につながることを期待されます。



3Sシステムで栽培中のカラーピーマンの様子  
【3Sシステムとは】

Small amount Separated cultivate-system for Solanaceae  
= ナス科果菜類隔離型少量培地耕システム

【支所担当/杉本 和広】

## 【重点研究】令和2～6年度 大玉トマト品種「麗月」の高品質生産技術の確立による産地競争力強化

飛騨地域の夏秋トマト栽培で近年導入された新品種「麗月」は多収で秀品率が高いため、栽培面積が急増しています。



飛騨地域の夏秋トマトの新品種「麗月」

しかし、「麗月」の適切な栽培管理が確立されていないため十分に果実が肥大しない小玉果や、商品価値がなくなる「つやなし果」及び「尻腐果」等の障害果の発生が多発する場合があります、問題となっています。

そこで、「麗月」の適切な肥培管理を検討するとともに、日射制御や温度管理等の環境制御を行うことにより小玉果やつやなし果、尻腐果等の障害果の発生を減らさせる技術の開発に取り組みます。

これにより「麗月」を生産する先進的な産地としての地位が確立され、産地の競争力が強化されることが期待されます。

【本所担当/前川 晴希】

### 人事異動(令和3年4月1日付) よろしくお願いたします。

転入者	旧所属	転出者	新所属
本所 施設園芸部長 田口 和則	病虫害防除所	本所 施設園芸部長 浅野 正	可茂農林事務所
本所 管理調整係長 中藪 朋美	高山陣屋管理事務所	本所 管理調整係長 松久 卓弘	大垣土木事務所
本所 研究員(野菜) 前川 晴希	(新規採用)	本所 研究員(野菜) 西村 歩	農産園芸課
本所 主事 中島 翼	(新規採用)	本所 主事 島田 直弥	労働委員会事務局
支所 研究員(野菜) 鈴木 駿太	(新規採用)	支所 専門研究員(野菜) 遠藤 彰将	郡上農林事務所

岐阜県  
中山間農業研究所

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重二丁目6番56号  
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175  
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ <https://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>